

闘虎

No. 5 4
Wrestling

群馬県レスリング協会広報紙
平成30年 春季号



群馬のクイーンズがW杯を彩る！

女子レスリングワールドカップ高崎大会

3月17～18日、高崎アリーナにおいて「2018女子レスリングワールドカップ大会」が行われた。このW杯高崎大会の開会式において、日本レスリング協会から、県内クラブの女子レスラーに、プラカード嬢の選出依頼があり、小笠原乃々華（館林）、原口真優・横尾瑠衣（明和）、今枝紗来（OSA）、須田紅葉（パレイストラ）、武田杏（大間々）、山田まい（伊勢崎）、青山成実（邑楽）、谷津七海（上州）、永井久美（富岡）の10選手が17日の開会式に登場し、8カ国の選手団とアトラクションのキン肉マンを先導した。また、プラカード嬢は試合毎に、また、最後の表彰式でも担当国を誘導、W杯の高崎大会成功と日本チーム優勝に、大きく貢献した。

◆発行／群馬県レスリング協会会長 柳川益美 ◆編集／群馬県レスリング協会広報委員会

クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

第54回

育英大学



指導者全員朝夕に指導！
実践的で質の高い練習！

1年 主将 片桐 龍樹

育英大学レスリング部は、今年から発足した新しいチームです。現在は、監督、コーチ三名、部員四名（男子三名、女子一名）という少ない人数で活動しています。練習は週に六日（朝練・午後練）行っており、育英大学だけで練習するのではなく、日本体育大学や大東文化大学、群馬県内の高校の練習に参加するなど、出稽古も計画的に行っています。

日ごろの練習では、柳川美彦監督や正保佳史コーチ、木村安里コーチは、スパリングなどにも加わり、一緒に汗を流し、選手のレベルアップのため、正確な技術と、より本番での実践的な指導をしてくれるため、とても質の高い練習を毎日行えています。また、他大学と違う点として、監督、コーチ三名は育英大学に在籍しているため、朝練から指導してくれます。

このような恵まれた指導者、環境のもとで練習を行えるということに日々感謝し、まだ実績のない私たちですが、これから多くの大会で、入賞できるように日々の練習を頑張り、育英大学レスリング部の歴史と伝統を七名全員で築き上げていきたいと思っています。

SCHEDULE

■全国中学生
レスリング選手権大会
6月9日（土）・10日（日）
青柳公園水戸市民体育館

■全日本選抜
レスリング選手権大会
6月14日（木）～17日（日）
駒沢オリンピック公園体育館

■全国少年少女
レスリング選手権大会
7月27日（金）～29日（日）
舞洲アリーナ

■インターハイ
8月4日（土）～7日（火）
津市メッセウイングみえ

■群馬県スポーツ少年団大会
8月5日（日）
千代田町総合体育館



程原 健さん（館林市・75歳）

レスラーの思い出

□この写真は昭和34年、私が館林高校2年のときの一枚です。後列左端に私、私の前にいるのが同期の上武洋次郎さんです。私は、幼馴染で隣に住んでいた一級上の岩上先輩の影響で、レスリングを始めました。練習は厳しく、冬場は寒稽古で暗いうちに練習して、一旦家へ帰り、朝飯を食べてから学校へ行く毎日でした。しかし、強くなるために練習はきつくて当たり前、やめようとは一度も思いませんでした。監督の久保田先生もとても熱心な人でした。大学は岩上先輩の後を追って、明治大学に進みました。私は1年からレギュラーになり、2年のリーグ戦では私はすべて勝ち、明大が全勝優勝したことがよき思い出です。2年後、館林市でインターハイがありましたが、館高が勝つかどうかは、監督、選手が、本気で全国優勝するとういう信念で練習しているかどうかです。

石井亜海が高校進学早々JOC優勝！

JOCジュニアオリンピック

4月14～15日、横浜文化体育館において「JOC全日本ジュニアレスリング選手権大会」が行われた。OSAから、女子レスリング強豪校の安部学院高に進んだ石井亜海が、階級を上げ61kg級に登場。決勝戦まで圧勝続きで進み、決勝では至学館高校の選手を破り、JOC初優勝を果たした。男子では、寺田有輝と玉岡颯斗の太田市出身・館高コンビが快進撃を続けたが、準決勝で僅差の惜敗を喫し、共に第3位となった。入賞者は次のとおり。

- 【男子ジュニア・フリー】◇57kg級 ③寺田有輝（国士館大）
- 【女子ジュニア】◇65kg級 ③荻野夏美（西邑楽）◇72kg級 ③小林奏音（市太田）
- 【男子カデット・フリー】◇92kg級 ③玉岡颯斗（館林）
- 【女子カデット】◇61kg級 ①石井亜海（OSA—安部学院）◇69kg級 ③坂本捺菜（富実）

川端健太と上村朋也が最優秀選手賞を獲得！ 館林市民春季大会



攻撃レスリングを貫き、次々とタックルで制した石井

- 5月19日、城沼総合体育館において「館林市民春季レスリング大会」が行われた。最優秀選手賞は、小学生の部は川端健太、中学生の部は上村朋也が獲得した。
- 優勝者は次のとおり。
- 【中学生】◇42kg級 阿部竜弥（千代田）◇53kg級 上村朋也（千代田）◇59kg級 加藤遙空（OSA）◇66kg級 和田晋太郎（館林）◇73kg級 城所拓馬（OSA）
 - 【5～6年】◇30kg級 川島倫太郎（上州）◇34kg級 佐藤岳（OSA）◇39kg級 黒鳥勇斗（パレイ



MVPを獲得した上村朋也（左）と川端健太

- ストラ）◇45kg級 川端健太（明和）◇51kg級 鳥居輪太郎（パレイストラ）◇51kg級 石塚佑慎（OSA）
- 【3～4年】◇24kg級 本間あみ（邑楽）◇28kg級 佐藤陽（OSA）◇33kg級 松林貫誠（千代田）◇39kg級 栗原悠人（OSA）◇42kg級 柴木連（上州）◇42kg級 和田三志郎（館林）
- 【1～2年】◇20kg級 小森谷岳琉（大間々）◇24kg級 武田志成（館林）◇28kg級 小林駿之介（パレイストラ）◇28kg級 谷津悠仁（上州）
- 【幼年】◇17kg級 石井陸翔（上州）◇21kg級 玉木大翔（伊勢崎）◇21kg級 鳥居希子（パレイストラ）

なでしこGUNMAのレスクイーン



西邑楽高校
横尾 真衣さん（1年）

マット運動が苦手だったので、レスリングをやれば上達すると思い、始めました。他クラブの子と仲良くなれたこと、試合で勝ったとき、タックルがうまく入れたときなど、レスリングをやってよかったと思いますが、思うように練習できずに悩んだこともありました。これからの目標は、関東大会で入賞し、インターハイに出ることです。そのために、自分から攻めるレスリングを練習したいと思います。尊敬するレスラーは、登坂絵莉選手です。将来の夢は、まだしっかりと決まっていませんが、レスリングを続けていき、体育の教師になりたいと思います。

館高7年連続33度目！ 個人Fは7階級優勝！ 群馬県高校総体

5月11～13日、館林市民体育館において「第53回群馬県高校総体レスリング競技会」が行われた。団体戦では、館高が7年連続33回目の優勝を飾った。団体順位と個人優勝者は次のとおり。

【団体戦】①館林 ②市太田 ③前西 ③館商工

- 【個人戦フリー】◇51kg級 日々野晴斗（館林）◇55kg級 築比地留偉（館林）◇60kg級 関海翔（館林）◇65kg級 谷津龍斗（館林）◇71kg級 坂上拓瑠（館林）◇80kg級 阿部光（館林）◇92kg級 玉岡颯斗（館林）◇125kg級 輪湖伊武稀（富実）
- 【個人戦・グレコローマン】◇51kg級

小田梨英瑠が第2位！ アジアカデット代表！ クイーンズカップ

4月1～2日、三重県サオリーナにおいて「ジュニアクイーンズカップレスリング選手権大会」が行われた。カデット69kg級の小田梨英瑠が

- 級 小林颯（大泉）◇55kg級 馬渡迅（市太田）◇60kg級 長井涼（前西）◇65kg級 谷津龍斗（館林）◇71kg級 坂上拓瑠（館林）◇80kg級 阿部光（館林）◇92kg級 玉岡颯斗（館林）◇125kg級 茂木潤（市太田）
- 【女子】◇軽量級 宮原乙葉（市太田）◇中量級 本荘美菜（館商工）◇重量級 小林奏音（市太田）

城所拓馬が完全優勝！ 全中へ向けて好発進！ 佐倉市長杯中学生大会

5月3日、佐倉市民体育館において、「第38回佐倉市長杯中学生レスリング選手権大会」が行われた。全中前の実戦で2選手が優勝した。入賞者は次のとおり。

【男子】◇73kg級 ①城所拓馬（OSA）

【女子】◇62kg級 ①藤倉優花（邑楽）②小林久美（千代田）

高橋一輝MVP獲得！ 団体でOSA第3位！ 少年少女おおま大会

3月25日、みどり市民体育館において「第23回少年少女レスリングおおま大会」が行われた。中学生ラストマッチとなった高橋一輝がMVP

板倉レスリング始動！ はじめの一步で教室！



板倉レスリングの「産声」となった開講式

5月20日、板倉中体育館において「チャレンジスポーツ教室」が行われた。これは、板倉町にレスリングクラブを立ち上げるための第一歩として、江原洋正副理事長が企画したもの。柳川美鷹・木村安里両講師を招いて、教室を開講した。